**第4回CCDO協同事業委員会**

2020年10月26日（月）18:30〜20:45　（Zoom会議）

出席者: 8名

委員：　岩佐(委員長)／渡辺（副委員長）／和田／佐藤／佐伯

オブザーバー：　安藤会長／鯉江（広報委員長）／黒田（副事務局長）

**○メッセナゴヤへの出展について**

27日（火）のCCDO理事会で承認を諮る。

予算についての議論になると思う　→ 出展料及びその他の経費で少なくとも10万円ぐらいかかるのでは？

CCDOのHPシステム改修に予算を当てるとすると、その予算との兼ね合いもある。

（佐藤委員から説明）

メッセナゴヤ オンラインページのイメージ（サンプル）〜出展ブース、出展者マイページのイメージ

<https://www.messenagoya.jp/about/index.html>

②製品・サービス情報には主に「デザイン相談」「デザインセミナー」の案内を掲載することになる。

＊デザイン相談のプロセス、相談手順をチャート図などでわかりやすく説明した方がよい。

（メッセナゴヤ来場者がイメージしやすいように）

＊「デザイン相談」「デザインセミナー」ともに具体的なイメージがわく写真が欲しい。

＊「デザインセミナー」については動画でもアピールしては？

　動画（Youtubeにリンク）は２本までアップできる。

　（１）CCDO紹介（以前、しんきん用に作成したパワーポイントをリメイク）

　（２）デザインセミナーのPR動画（渡辺委員のプレゼン＋これまで開催したセミナーの写真を挿入するなど）

　　　　→使用できる素材を検討

＊デザイン相談やセミナー問い合わせ先・担当者の明記

＊オンラインなのでデザイン相談やセミナーの情報は各計画の進捗に合わせ最新情報にアップデート可能。

＊デザイン相談受付期間〜メッセ会期中（11/16〜12/11）に限定するか、継続するか？

＊申し込み記載内容の確認（佐藤委員から原稿案を各委員にメール済み）

**○デザインセミナーについて**

（渡辺副委員長より）

リアルとオンラインとの比較検討（それぞれのメリット・デメリット）

＊現状から考えると講演、グループワークともオンライン開催した方がよい

＊グループワークの場合、オンラインで支障になることは何か？

Zoomで実施可能なこと

　●ブレイクアウトルーム（グループ分け）：

Zoom上でミーティングに参加している参加者を、小さなグループに分けることができる機能

　　参考　　https://blog.coubic.com/onlinelesson/zoom-breakoutroom/#i

・ホストのみ利用できる

・最大で 50 のブレイクアウトルームを作成できる

・1つのブレイクアウトルームに最大で 200 名が参加できる

・ブレイクアウトルームの参加者は、オーディオ・ビデオ・画面共有機能が利用できる

・参加者を自動または手動で各ルームに割り当てできる

・ホスト以外は、他のグループに自由に入退室できない

＊ブレイクアウトルーム機能を使えばグループワークは可能

＊アイデアシートはグループ内で共有可能

＊ファシリテーター１名、記録係１名が各グループに必要

＊全体の時間管理（ホスト）と各グループの時間管理

＊ホストが各グループのファシリテーターと連絡し合う〜LINEトークなどで可能

●講師・講演について

　（講師）

　＊これまでのセミナーでは毎回講師が変わっていた〜できるだけ幅広い人選をしたい

　＊シリーズで考えれば１名ないし２名の講師で４回を一貫させても良いのでは？

　＊４回全体を担当できる講師がいるか？

　＊具体的な講師案いついては各委員が次回委員会までにメールで提案を回答する

　　渡辺委員から各委員にメール

　（講演）

　＊オンライン開催にするなら、講演は事前収録が安全。リアルでの講演はいろいろリスクも多い。講師の時間も融通

がつきやすい。

　＊事前収録の場合、収録する場所・方法・編集作業を検討

　＊講演ビデオはYoutubeに視聴者を限定してアップすることができる。

●運営について

　＊講演とグループワークの間の休憩時間（ブレイクアウトルームへの切り替え時間が必要）を設定。

　＊運営スタッフ〜１回のセミナー受講者20名、グループ4〜５に分けた場合、スタッフは15名ぐらい必要。

　＊実際、１５名のスタッフが集められるか？10名程度が現実的？→10名で運営できる方法を考える。

　＊リハーサルをして実際の運用の問題点を洗い出す必要がある。

　＊セミナー実施時期までできるだけ準備期間を取りたい。実施は2月〜3月でも良いのではないか？

　＊オンラインでのセミナー運用例など、参考資料をまとめ示す。（佐伯委員）

●今後の役割分担

　＊委員会に欠席している委員にも、経緯説明と今後の参加を促すため、役割分担を明確に作る必要がある。

　＊セミナー担当の渡辺委員が役割分担案を作成。

●セミナーのPR

　＊セミナーの意義、受講メリットなどをわかりやすく訴求するキャッチコピーが欲しい。

〜メッセナゴヤの情報に掲載するテキスト内容を各自検討。

〜セミナー講師案とともにメールで回答。

次回　協同事業委員会

11月5日（木）・10日（火）・11日（水）のいずれかで開催予定〜伝助で日程調整